

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	1
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI	目標値		
若い世代をターゲットとしたU(I・J) ターンの促進	養父市で生まれ育った若者などへ結うターン(Uターン)を促す取組や回帰を促すアプローチを市民総参加で行い、女性をはじめとする養父市に関わりのある多様なUターンを促進する。		U・Iターン支援制度を利用したU(I・J)ターン者数	50組		
KPI推移	H27 8組	H28	H29	H30	H31	備考 (累計)

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	やぶ暮らし住宅支援事業【重複】	やぶぐらし課	UIJターンの住環境の整備のため、やぶ暮らし住宅支援制度による助成、空き家バンクによる物件の紹介、相談を行う。	○
	U・Iターン者世帯加算者数	8組	固定資産税通知書(市外)の送付時に空き家バンクのチラシを同封した。空き家実態調査をもとに空き家バンク登録の奨励を効果的に行う。	8組
②	【新規】若者未来応援奨学金事業	教育総務課	修学支援及びUターンを促すため、奨学金の交付、奨学金返還猶予・免除規定により定住促進を図る。	○
	奨学生の人数	— 人	予定人員を超える申し込みがあり、効果が期待できる。(見込み15人→応募28人)	— 組
③	【新規】結婚結う会いターン推進事業	やぶぐらし課	若年世帯の移住を促進するため、新婚世帯に対し引越し費用を最大10万円補助する。	—
	制度を利用して引っ越した世帯	— 世帯	国の新制度である結婚新生活支援事業補助金との調整を図る。4月に要綱を制定済みであり、HP、やぶぐらしサイト、広報に制度を掲載した。	— 組
④	【新規】孫ターン推進事業	やぶぐらし課	孫ターンなど若い世代の移住定住を促進するため、シルバー人材センターに委託し交流事業を行う。	—
	孫ターン事業開催数	— 回	事業内容、開催時期等を早期に決定し、体験プログラムの開発を行う。都市部のシルバー人材センター会員の孫等に対し、養父市の自然や体験を満喫できる事業を4回実施予定である。	— 組

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

	必要性	有効性	効率性	評価
①基本目標の視点から見た施策の評価について	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	基本目標に直接効果のある施策である。			
	必要性	有効性	効率性	評価
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	U・Iターンを促進するための多様な事業で構成されており、対象者の範囲も幅広く設定されていることから妥当である。 やぶぐらしを始める人に必要な住まいの確保を支援するとともに、人生の節目となる大学進学や結婚をあたたく応援し、若い世代とつながり続けるなど、U・I・Jターンを促進するための多様な事業が設定されており、対象者の範囲も幅広いことから妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 「やぶ暮らし住宅支援制度」は平成30年度で失効するため、平成31年度に向けて新たな支援制度を設ける。 市外在住であっても市に縁のある方に対し、市の動きを直接情報提供できる仕組みをつくることで、養父市とのつながりを構築する。 市内の子ども達が養父市に愛着を持てるよう、特徴的な取組を行う企業や個人も含めた養父市の魅力を発見できるような発信を行うとともに、子ども達のまちづくりへの意見が市政に反映される仕組みを整える。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	2
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI	目標値		
U・I・Jターン者等による起業・就業の 促進	古民家、空き民宿など活用したU・I・Jターンによる起業やマンパワー不足が課題となっている介護・建設・農業・林業分野でのOJTによる就業を促進する。特に養父市に住む若い女性に対して雇用に繋がる資格取得等スキルアップを支援し、女性が活躍できる環境をつくることにより、女性のU・I・Jターンを促進する。		U・I・Jターン者のOJT就業・起業数	25人		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	3人					(累計)

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	地域おこし協力隊活動事業	やぶぐらし課	地域外の人材を誘致し、地域力の維持・強化のため、協力隊の活動と自立を支援する。	○
	隊員委嘱者数	4人	委嘱時期と地域おこし活動の募集テーマを改善した。地域おこし協力隊起業支援補助金を定める。	0人
2	労働対策事業	商工観光課	雇用・就業の充実と人材育成のため、地域人づくり事業、若手職人育成事業、実践型地域雇用創造事業等による就業支援を行う。	△
	地域人づくり事業による就業支援数 若手職人育成事業による支援数	3人	若手職人育成事業制度は、雇用事業者の会員要件や対象職種を緩和・拡大することにより利用しやすい制度とする。	3人
③	【新規】介護人材確保事業	介護保険課	U・I・Jターン者を介護事業所で雇用し介護人材の確保を図るため、就職する者に各種費用の一部を補助する。	—
	U・I・Jターン者の就業者数	—人	市内の特別養護老人ホーム等施設長会議において事業を紹介を行った。	—人
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
移住定住の促進はもちろんのこと、基本目標②にも寄与しており重要な施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	概ねある	高い	一部見直し
人手不足といわれている農業・介護・建設などをはじめとする多様な分野で地域課題に対する支援が実施されているが、事業執行においては地域資源の活用や女性をターゲットとするなど特徴付けを行う必要がある。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 若手職人育成事業については、利用が限定的であるためPR方法や関係機関との連携、更には制度を見直す必要がある。 UIJターンをしようとする若者が起業・就業するうえで養父市が選択肢になるよう、就業したいと思われるような特徴ある取組みを行う企業や「養父市では新しいことが出来る」と思わせる独自の取組みを行っている個人を含めた養父市の魅力を発信する。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	3
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI		目標値	
空き家を活用した移住・定住の推進	空き家解消に向けたストックの有効活用を図るとともに、農地と空き家を組み合わせるなどやぶぐらしを象徴する取組を推進する。		空き家バンク成約件数		50件	
KPI推移	H27 7件	H28	H29	H30	H31	備考 (累計)

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	やぶの空き家活用支援事業	やぶぐらし課	UIJターン希望者の多数が空き家での居住を望んでいるため、修繕費用として最大150万円補助する。	○
	交付件数	1件	対象者の要件緩和のため要綱を一部見直し。移住定住促進ガイドブックに掲載した。条件付きで所有者が改修する場合も対象予定とする。	(1)件
2	やぶ暮らし住宅支援事業【重複】	やぶぐらし課	UIJターン者の住環境の整備のため、やぶ暮らし住宅支援制度による助成、空き家バンクによる物件の紹介、相談を行う。	○
	新規空き家登録物件数	13件	固定資産税通知書(市外)の送付時に空き家バンクのチラシを同封した。空き家実態調査をもとに空き家バンク登録の奨励を効果的に進行。	7件
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
空き家の紹介から、活用される空き家の修繕までの一連の流れで実効性のある支援を行っており、有効な事業設定で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 特に、移住相談窓口の充実・強化をあわせて各事業を行う。 移住者にとっては移住相談の対応者が最初に接する養父市民であり、そこで丁寧な対応を受けたかが移住の是非に影響するため、移住相談の対応者がワンストップで対応できるような体制の整備に加え、利活用可能な空き家確保に向けた取組を強化する。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	1
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
6次産業化の推進と拠点の整備【特区関連】	農家・事業者の6次産業化を促進する加工機能・ノウハウを提供する仕組みを確立するとともに、農家・事業者らが行う6次産業化への取組を推進する。		6次産業化への取組農業者・経営体数	15経営体		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	1経営体					(累計)

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	儲かる農業支援事業	農林振興課	6次産業化の推進を図るため、農業者に上限100万円で事業に要する額の2分の1を補助する。	△
	6次産業化に係る施設整備件数	1件	新制度について農会長会で周知した。次年度予算の検討に利用するため、制度の利用意向調査を行う。	1経営体
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	やや高い	一部見直し
	特区関連の重要な施策でありながら、支援事業が施設整備への補助のみと限定的である。特区の狙いである、6次産業化推進のため、気運の醸成なども含めた更なる支援策の追加等が必要である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 6次産業化に取り組むための意識の醸成を高める取組を検討する。また、商工業者へのアプローチを図る。 長期的なブランド戦略として、養父市の取組みを多言語発信(イタリア語、フランス語)などにより海外展開につなげる。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	2
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
多様な起業・創業の促進	農業・林業・観光・子育て・福祉分野をはじめ幅広い起業・創業の立ち上げを促進するとともに、販路拡大、技術・業務提携、資金調達など一貫した成長発展を促す仕組みを構築する。		起業・創業支援制度を活用した起業・創業件数	30件		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	0件					(累計)

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	創業・事業承継支援事業	商工観光課	市内での創業・事業承継を促進するため、創業塾の開催による知識の習得と経費補助を行う。	×
	起業者支援事業による補助件数	0件	補助率、補助上限、対象経費等を見直し、利用しやすい制度とする。	0件
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	あまりない	やや低い	抜本的見直
	起業・創業者のサポート体制の構築のため、養父市地域雇用創造協議会との連携と役割分担を明確にし、相乗効果を発揮できるよう調整を図る。 施策「U・I・Jターン等による起業・就業の促進」と関連し地域の課題や地域資源を踏まえ、どのような分野の起業を求めるのか等、特徴のある発信を行うとともに、金融機関、商工会など関係機関との連携によりワンストップで相談に対応できる体制を強化する。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 地域の課題や地域資源を踏まえ、どのような分野の起業を求めるのか等、特徴付けを行い発信していくこと。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	3
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る					◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創案件数50件/5年間	
施策	概要					KPI	目標値
農業を担う人材・経営体の育成【特区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、おおよや高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の担い手を呼び込む仕組みを構築する。					新規就農者・経営体数	20人(社)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	7人(社)					(累計)	

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	担い手経営発展支援事業	農林振興課	農業経営の法人化及び集落営農の組織化を支援するため、法人化に40万円、組織化に20万円補助する。	○
	農業経営体の法人化数	7人(社)	法人化した組織の経営や取組みについて情報発信を行う。	7人(社)
2	担い手総合支援事業	農林振興課	担い手確保と育成及び強い経営体の育成のため、機械、施設設備の支援や青年就農者を支援する。	○
	青年就農支援給付金等受給者	3人	経営体育成相談及び新規就農相談について、経営方針・ニーズを踏まえた対応ができる体制とする。	0人
③	【新規】養父市Lプロジェクト事業	農林振興課	女性の農業分野への進出を目指して、女性向け草刈り機の普及・利用拡大を促進する。	○
	草刈り機の安全講習会参加者	—人	第1回安全講習会開催した(参加者35人)。第2回安全講習会(実地研修)を開催予定である。	—人
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	農業経営の法人化、新規就農者への支援、女性の農業分野進出促進のための事業で構成されており妥当であるが、特区や有機の里づくりなど従来の特徴ある取組も発信することが必要である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 国家戦略特区や有機の里構想さらには、女性農業者を前面に出したPRを行い、新規就農の促進を図る。但馬農業高校卒業生が農業経験を活かさずにいる現状には改善余地があり、就農までの道筋を整えることが必要。 地区の高齢な農業従事者が新規就農者の指導者(メンター)になるなど、地域として持続的な農業を行う仕組みを整える支援が必要。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	—	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
企業立地の促進と規模拡大・第2創業などがんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入など頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支援した事業者数	100社		
KPI推移	H27 26社	H28	H29	H30	H31	備考 (累計)

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番〇はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	企業等振興奨励事業費 事業拡充、新規創業、販路開拓などに対する奨励措置	商工観光課 30件	市内中小企業者の事業拡大や創業、新商品開発等の支援を行うため、奨励措置を行う。 広報の掲載を行い、各支援制度と連携する。雇用拡大につながる支援制度を検討する。	○ 21社
2	養父市企業支援センター事業費 専門家派遣による相談件数	商工観光課 78件	市内商工業者の経営革新や事業拡大等の取組を支援するため、専門家派遣による相談業務を行う。 支援をより効果的に行うために、市内景況調査を年4回実施する。	○ (4)社
3	中小企業融資事業費 養父市中小企業融資制度	商工観光課 10件	市内中小企業者の運転・設備投資、経営革新など支援するため、信用保証料の補助、利子補給を行う。 広報の掲載を行い、各支援制度や金融機関と連携する。経済情勢を踏まえた支援制度を検討する。	○ 5(7)社
4	養父市地域ブランド創出事業 ブランド認定審査会の開催	商工観光課 2回	地域経済の発展と活性化を図るため、認定された養父市地域ブランド品の販路開拓や販売促進を支援する。 小売店等に制度の普及啓発を行った。小売店等に制度の普及啓発を行った。潜在する地域資源をブラッシュアップし、新規開拓、商品化につなげ、認定品の充実を図る。	○ (4)社
5	企業誘致促進事業費 誘致フェアへの出展	商工観光課 1回	産業立地の促進により、経済及び雇用の活性化を図るため、養父市への企業進出を促す。 事業用候補地の見直しや情報のデータベース化を行う。	○ (1)社
⑥	【新規】地域産業育成基盤整備事業 商談成立事業者数	商工観光課 1件	地域経済の活性化と雇用創出を図るため、商工業振興総合サイトを立ち上げ、技術、製品、求人情報や空き工場等事業用地を紹介する。 進捗30%(制度運営等を見越した制度設計及び仕様書を作成中)	— —社

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
企業立地、第二創業、事業拡大に対する直接支援の他に資金融通、販路開拓、専門家派遣、人・物・技術・用地等のマッチングサイトの創設など多様な事業設定がされており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 個別の事業については事業の周知に工夫が必要。 なぜ養父市に企業が立地するのか、という観点から企業にとっての利点を磨くとともに、養父市が1番にみえる魅力的なPR方法で発信することが必要。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	5
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
近代化産業遺産の活用	兵庫県が推進する「鉱石の道」プロジェクトと連携し、明延鉱山「一円電車」の復活等による観光資源に磨きをかける取組を推進する。		明延地区の年間来訪者	100,000人		
KPI推移	H27 13,693人	H28	H29	H30	H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	明延地域活性化事業	大屋地域局	明延鉱山遺産を活用し地域経済の活性化を図るため、シンボリック遺産の一円電車を運行する。	○
	一円電車安全運転講習 バッテリー機関車整備士養成講座	21人	運転士養成講座を平日開催から土曜日の開催とした。個々のスキルアップを目的とした研修会を検討する。	3,015人
2	あけのべ自然学校運営事業	商工観光課	学校教育活動の推進、市民相互の交流促進、経済及び雇用の活性化を図るため、明延地域へ誘客する。	○
	誘客行動 (HPの充実、キャラバン、広報活動)	0回	景観行政団体となり、養父市独自の景観計画と景観条例を制定する。	10,678人
③	【新規】景観形成推進事業	土地利用未来課	学校教育活動の推進、市民相互の交流促進、経済及び雇用の活性化を図るため、明延地域へ誘客する。	—
	景観計画と景観条例制定	—件	経営戦略会議を開催し、全体のプロモーションを行う。6月に景観行政団体となった。景観計画策定のコンサル委託を契約した。今後、景観計画策定の検討委員会を開催予定である。また、7月に兵庫県景観まちづくり交流会において、大屋大杉の景観まちづくりの実績発表を行った。	—人
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	明延のシンボルである一円電車運行に向けた取組や明延の街並みの歴史的価値を向上させる取組が設定されており妥当であるが、観光エリアとしてKPIの達成に向けた明確な将来像を明延地域全体について設定する取組がまず必要である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 明延地域を観光エリアとして、雇用創出に向けた取組を行う。 画像や動画などの視覚的にわかりやすいコンテンツをSNSのような拡散しやすいメディアで発信するなど、対象に応じた情報発信を機会を捉えて戦略的に行う。 養父市のみでなく、近隣市外の観光資源を利用した事業も検討する。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	6
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る				◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間		
施策	概要				KPI	目標値	
伝統産業のイノベーションプロジェクトの推進	伝統産業であった養蚕産業を従来のシルク製品にとどまらず、美容健康分野、医学的利用も視野に入れた新たな産業として再生の可能性に向けた検討を行う。また、養蚕と関わりの深い養蠶産業の再生もあわせて検討する。				養蚕関連事業に取り組む事業者数	1事業者	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	0事業者						

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	伝統的建造物景観調査事業	社会教育課	重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて、調査事業を推進する。	○
	建造物調査報告書の作成	1 件	都市計画担当課と連携した体制の検討を行う。	0 事業者
②	【新規】養蚕プロジェクト事業	企画政策課	伝統産業であった養蚕で新しい産業を興すため、地域振興計画を策定し、新産業事業所の設立を目指す。	—
	研究会の開催	— 回	専門的に動くセクションを検討する。 関係部局による会議を2回開催し、方向性の検討を行っている。方向性の決定後研究会を設置する。	— 事業者
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標につながる施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
養蚕プロジェクト事業については、どの分野でイノベーションを図るか等の将来イメージを共有するための調査研究を行い早急に方向性を示す必要がある。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 調査研究結果に基づき計画を早急に確立し、必要な事業関係部署で取り組む。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	1
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担い 手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI		目標値	
男女の出会いづくりと好感度の向上	独身男女の出会いやお見合い等のカップリングをコーディネートする人材や団体を育成し、出会いの機会をつくるとともに、自分磨きや異性との関わり方を学ぶセミナーなどの開催により、異性との関わりが円滑にできる男女を増やす。		出会い・結び合い事業実施回数		10回	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	6回					

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	縁結び奨励金交付事業	やぶぐらし課	縁結び世話人制度を設け、結婚・定住した場合には、1組5万円の縁結び奨励金を交付する。	○
	世話人等による成婚数	1組	縁結び世話人、結婚相談員、こうのとり大使等を中心とした婚活応援者ネットワーク会議を設置し、縁結び事業の企画等を実施する。	3回
2	婚活支援事業補助金交付事業	やぶぐらし課	独身男女の出会いの場を促進し結婚者数の増加を図るため、セミナー実施団体等に補助金を交付する。	○
	イベント件数	3回	縁結び世話人、結婚相談員、こうのとり大使等を中心とした婚活応援者ネットワーク会議を設置し、縁結び事業の企画等を実施するとともに地域おこし協力隊と連携し出会いの場及び人材育成セミナーを実施する。	3回
③	【新規】出会い応援セミナー事業	やぶぐらし課	好感度を向上するため、会話術や身だしなみなどのセミナーを開催する。	○
	イベント件数	—回	6月に婚活応援者ネットワーク会議を開催した。出会いの場やセミナーの企画、立案を行うこととしており、内容について協議中であり、第2回目を9月に開催予定である。	—回
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	一部見直し
基本目標につながる施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
世話人による男女の結び付け、当事者間の出会いの場を提供する団体等への補助、個人のコミュニケーション能力向上等の幅広い婚活支援が行われており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	<p>各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 縁結び奨励金交付事業は、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地域おこし協力隊においても同様の活動に取り組んでいるため連携して行う。 現在のKPIは活動指標であるため、KPIを「出会い・結び合い事業実施回数」から成果指標となる「世話人等による成婚数」とし、目標値を年間「3組」とする。 田舎に住みたい都市部の女性が気軽に養父市に来れるよう、結婚だけが目的でない、交流・出会いのためのイベントを婚活イベントの手前に設ける。 行政がイベントを主催するのではなく、民間の活動を行政がサポートする体制が望ましい。</p>
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	—	2
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る					◇出生数 770人/5年間	
施策		概要			KPI	目標値	
子どもを持ちたい希望をかなえる		不妊、不育に悩む夫婦や子育て家族が希望する 人数の子どもを持てるよう支援し、経済的負 担を軽減する。			中学生以下の子どもを持つ 世帯のうち多子世帯の 割合	60%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	57%						

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	多子世帯負担軽減事業	こども育成課	子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第3子以降の 保育料を一部補助する。	○
	補助対象児童数	16 人	兵庫県の制度改正にあわせ対応。	57 %
2	特定不妊治療費助成事業	健康課	出生率の向上を図るため、特定不妊治療にかかった費用から 県助成金を除いた全額を助成する。	○
	助成件数	9 件	チラシ、HP掲載。相談体制の整備。	57 %
3	多子世帯給食費負担軽減(参考)	学校給食センター	子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第2子以降の 給食費を半額にする。	
	—	—		
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	基本目標につながる施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	子どもが欲しい夫婦を支援し、保育料や給食費など子育てにかかる経済的負担を多子世帯について軽減 する事業が設定されており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
--------------------	-----------------------------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	3
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担 い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
妊娠から子育て期までの切れ目ない 支援を展開	妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップで切 れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療費、保育料 の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも子どもが安全に遊 べ、親同士のコミュニティの場となる環境を整備する。		この地域で子育てをして いきたい親の割合		80%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	71%					

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	母子保健事業	健康課	妊娠期から個別支援や事業を通して、他機関と連携し支援 する。	○
	妊娠期のフォロー実施率	55 %	母子健康手帳の交付の方法や内容を変更する。	71 %
2	感染予防事業	健康課	感染症の罹患を防ぐため、定期予防接種の啓発と勧奨を行 う。	○
	小児の定期予防接種率	80 %	対象者には速やかに個別案内をする。	(0) %
3	医療費助成事業(乳幼児、母子、こ ども、未熟児)	保険医療課	子育てのしやすい環境づくりのため、対象者の医療費を助 成・無料化による支援。	○
	受給者証の交付人数	3,070 人	制度内容の分かり易い周知を図る。	(0) %
④	【新規】産後ケア事業	健康課	育児支援を必要とする産後3カ月未満の母児を対象に、心 身のケア、乳児のケアなど支援する。	○
	宿泊型利用	— 日	育児用品など貸し出しの依頼を病院へ行った。 H28.6末現在で宿泊型13日間(3名)、アウトリーチ型7回(6 名)の利用。	— %
⑤	【新規】子育てヘルパー事業	健康課	子育てで家庭にヘルパーを派遣し、家事援助、育児支援を行 う。	—
	ヘルパー派遣利用者数	— 日	個人利用料金の徴収方法、ヘルパーの資質向上の検討。 対象者約110人に事業案内通知済、利用申込者5人(うち実利用者 1人)	— %

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に 対して事業設定が 妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標①の若い世代をターゲットとしたU・I・Jターンの促進施策に対する要因ともなる。 妊娠期から子育て期における個別相談から医療費の助成など、きめ細やかに切れ目ない事業を実施して おり妥当である。さらに新規事業として、家事援助や育児支援の事業も相まって更なる効果が期待できる。 子育てしやすいまちとしての一体的で有効なPRが重要。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 子育てに関して市民へ直接届くPRとともに、市外には本市の独自性を有した事業をその他の事業と合わせ て発信する。 市民ニーズに沿った施策を展開するため、市民の要望を事業の改善に反映する取組みを行う。
--------------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	1
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
健康・体力づくりの推進	生活習慣病の予防と改善、健康寿命の延伸のため、壮年期からの健康づくりのため、運動や体力づくりを推進する。		効果的な運動をしている人の割合	35%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	—					

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	健康づくり推進事業	健康課	市民、地域団体等が健康づくりを積極的に継続して行うために、やっぷー健康ポイント事業を実施する。	○
	健康ポイント参加者数(申請人数)	7,937 人	企業と連携し活動量計を用いた健康づくり「やっぷー健康ナビモデル事業」に取り組む。	— %
2	スポーツ振興事業	生涯スポーツセンター	健康づくり、スポーツ活動の推進と地域活性化のため、市体協へ補助金を交付しスポーツ振興を支援する。	○
	スポーツ大会の参加者数	6,361 人	HPでスポーツ関連情報の掲載、体力測定会で意識啓発を行った。新規事業、既存大会等を拡大させる支援制度の検討。	— %
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
		大いにある	大いにある	高い
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
		大いにある	大いにある	高い
市民の継続的かつ積極的な健康づくりを推進する事業が設定されており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 現在設定されているKPIは毎年アンケート調査等を別途行うことが必要のため、毎年計測している数値(20才~64才の年齢で、やっぷー健康ポイントを交換している方など)をKPIとすること。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	2
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進	高齢者の就労ニーズに合わせた就労に関する取組を推進する。特に国家戦略特区の規制緩和も視野に入れ(公社)養父市シルバー人材センターによる地域課題の解決(農、観光、子育て、福祉分野など)に資する取組を推進する。		シルバー人材センターの 斡旋による高齢者の就労 数	50,000人日		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	48,468人日					

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH28新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	養父市高齢者就業機会確保事業	社会福祉課	「生涯現役社会」実現のため、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、地域就業機会創出・拡大事業を実施。	○
	会員数の拡大	457 人	会員数拡大のため、入会説明会を定期的に開催するとともに、就業場所の開拓を推進する。	48,468 人日
2	放課後ふるさと教育事業	こども育成課	地域文化の伝承や地域への愛着が希薄となっているため、学童クラブ等において高齢者から地域文化を伝承する機会を提供し養父市を愛する心を醸成する。	○
	ふるさと教育実施回数	27 回	学童クラブの他子ども園にも関わるため、派遣指導者数を確保する。	(81) 人
3	高齢者生きがい活動支援事業	農林振興課	高齢者の生きがいがづくりと社会参加の推進のため、有機農産物の流通拡大、営農等の体験機会の提供。	○
	勇気をもって有機栽培事業、学びのある田舎暮らし事業 就業延べ人員数	799 人	有機農業の普及促進にかかる事業が終了→シルバー人材センターから新規提案を募集。	(799) 人
④	【新規】子育てヘルパー事業	こども育成課	子育て家庭にヘルパーを派遣し、家事応援、育児支援を行う。	—
	ヘルパー派遣利用者数	— 人	個人利用料金の徴収方法、ヘルパーの資質向上の検討。対象者約110人に事業案内通知済、利用申込者5人(うち実利用者1人)	— 人
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
施策の実施主体となるシルバー人材センターに対する高齢者就業機会確保事業に加え、子育て分野、農業・観光分野までの幅広い分野で事業が設定されており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 新規事業については、PDCAを回すことに意識して実施する。 既存のイベントに孫と高齢者とが交流できる場を入れるなど各世代間交流の取組みにより促進する。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 4 - 3

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要			KPI	目標値	
疾病予防と健康づくりの推進	高齢になっても健康で住み慣れた地域で元気に暮らせるよう、若いときからの健康づくりとまちぐるみできめ細やかな健康管理・疾病の早期発見と生活習慣病予防を図るための取組を進める。			特定保健指導利用率	60%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	32%					

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	特定保健指導未利用者勧奨数	健康課	健診事業により疾病の早期発見と生活習慣予防事業により保健師や管理栄養士のアドバイスにて生活習慣病を減少させる。	○
	特定保健指導未利用者勧奨数	120 人	特定保健指導案内後に電話勧奨を行なう等タイムリーに利用勧奨する。	32 %
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
健診による疾病の早期発見、生活習慣病予防から特定保健指導までの一連の流れで事業が設定されており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	----------------------------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	4
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳	
施策	概要		KPI	目標値
公立八鹿病院、市立診療所の医師確保による医療機関の安定運営	継続的かつ安定的な医療提供のため、公立八鹿病院の深刻な医師不足及び市立診療所の医師の高齢化に対応する取組を実施する。		八鹿病院医師数	45人
KPI推移	H27 37人	H28	H29	H30
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	やぶ医者プロジェクト事業	保険医療課	医師確保のため、各種補助金(医学生入学時特別修学資金の補助、医師確保支度金貸与、女性医師環境整備補助等)に加え、やぶ医者大賞を実施する。	○
	医学生入学時特別修学資金貸与	2 件	全国自治体病院との連携を通じて医師確保のPRを強化する。	37 人
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標につながる施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
医学生の修学資金の補助による将来の人材確保や女性医師をはじめとする医師が養父市で働くための支援とともにやぶ医者大賞の実施など総合的な医師確保の事業を実施しており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 但馬全体で医療体系を整える観点から、八鹿病院にあるべき機能の充実を図る。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	5
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
介護予防の推進	地域ぐるみでの介護予防の場を拡大することを推進し、地域において自立支援に資する取組やすべての高齢者が生きがい・役割をもって生活できるための取組を推進する。		毎日元気にクラス開催箇所	60箇所		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	10箇所					

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H27活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH28の進捗状況(6月末現在)	H27成果実績
1	介護予防事業	介護保険課	健康寿命を延伸するため、地域介護予防活動支援事業により介護予防サポーター等を養成し、介護予防普及啓発事業(毎日元気にクラス等)を各地区で開催する。	○
	笑い与健康お届け隊員の新規養成数	10人	教室の短期コース追加、保健師による継続支援、シルバーのフォロー研修実施。	10箇所
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
地域での予防普及啓発、介護予防サポーター等の養成、研究機関等の連携など総合的な事業が設定されており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	----------------------------